ダルニー通信

077
2015
WINTER



02-04
特集
アセアン経済共同体と経済格差

05-06
元奨学生と現奨学生

07
読書感想文（ラオス）

8
カンボジア寮が完成

9
少数民族教師育成

11
立命館宇治高校がタイ訪問

12
阪急百貨店でイベント

14
ベトナム日清の支援活動

15
タイ料理レシピ

16
私の特別教育基金

17
2016カレンダー販売

18
佐久平ドナー連絡会

20
中学校校舎第一号完成

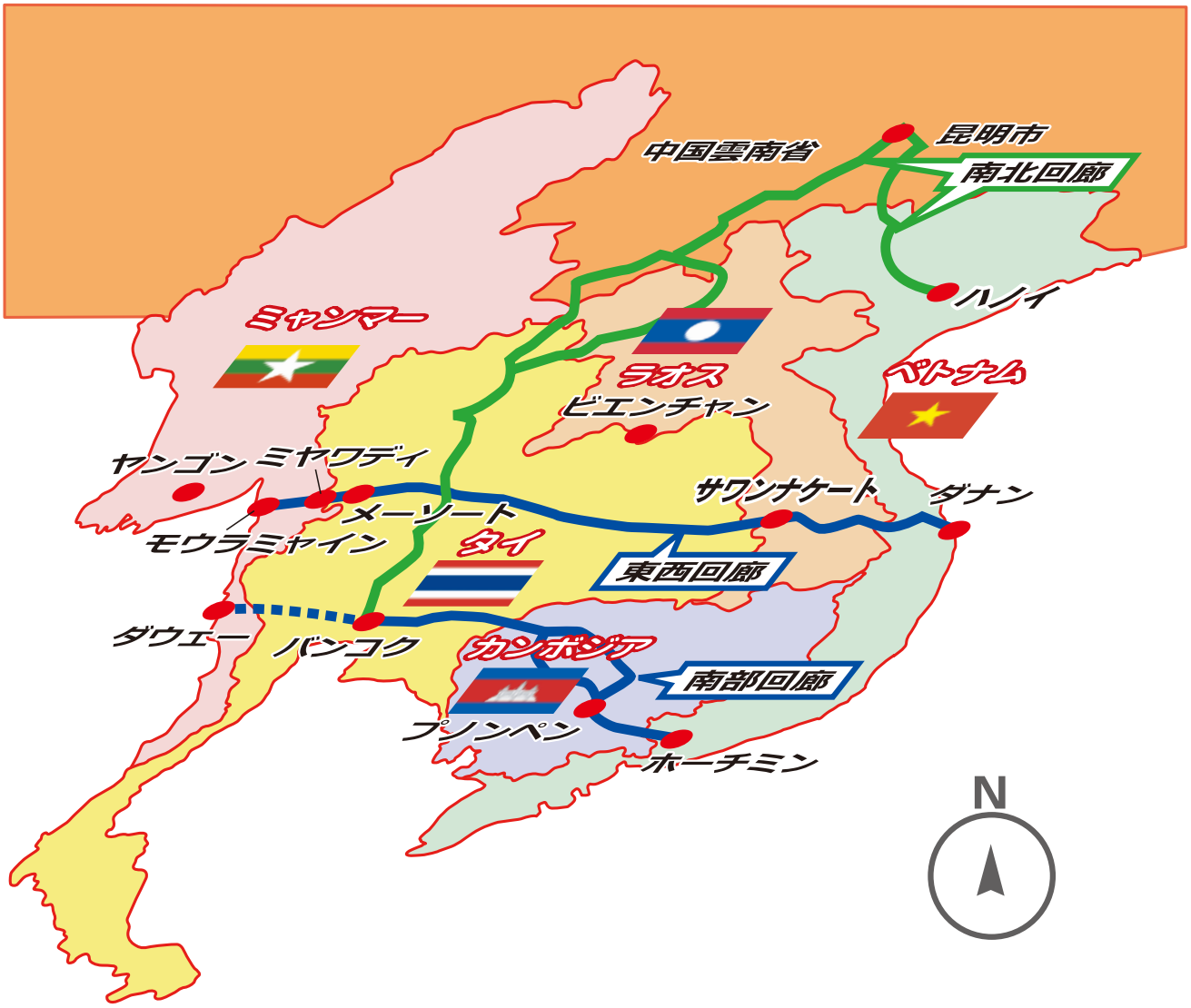
2015年末からアセアン経済共同体(AEC)がスタート

経済格差は 拡大するの？ 縮小するの？

東西・南北回廊の開通とともに人口６億人の経済共同体がスタートし、通貨統合はしないものの、域内の関税が撤廃され、ヒト・モノ・カネのより自由な移動が可能になります。さらなる経済発展が見込まれ、日本をはじめ、欧米からの投資がますます勢いを増しています。しかし、AECはダルニー奨学生たちが住む農村部の貧しい地域にも恩恵をもたらすのでしょうか？民際センター各国事務局の責任者に意見を聞いてみました（P4）。

9月15日付の日本経済新聞。外信面に大見出しで「欧米ホテル、ミャンマー開拓」と書かれ、大手ホテルチェーンが出店攻勢をかけていると報じています。記事によると、同国の14年度の外国人入国者は316万人で、11年度と比べて3.7倍に膨らみました。ホテルに外国人客が殺到し、宿泊料金が高騰しているそうです。こうした状況下で、欧米のホテルは政官財と太いパイプを持つ現地財閥と組んでホテル網づくりを急いでいると報じています。さらにページをめくってみると、ベトナム特集のもと、「高度成長続け新興メコンをけん引」との見出しがあり、2ページにわたってベトナムの経済発展動向を紹介しています。その1例として、イオンが昨年ホーチミンにオープンした第1号店に続き南部に2号店を出店。秋にはハノイに3号店、来年ホーチミンに4号店をオープンする予定と報じています。その背景として、国全体の1人当たりGDPは2,000ドルですが、ハノイで3,000ドル、ホーチミンで5,000ドルを超えて、購買力が高まっていることを理由として挙げています。

ミャンマーやベトナムだけではなく、加盟10カ国のそれぞれの国が最近の10年で区切っても高い経済成長率を達成しています。10カ国の一人当たりGDPを合計すると、オランダ、スウェーデン、ポーランドの一人当たりGDPを合計した額に近い数字になります。つまり、インドと中国の間に上記ヨーロッパ３ヵ国の経済力に匹敵する、人口6億人の地域が出現することになります。インドシナ半島を東西南北に走る回廊が完成し、関税が撤廃されれば、日本や欧米の企業にとって生産拠点としても消費のマーケットとしてもますます魅力的な地域となるでしょう。



ところで、これら10カ国の社会の底辺にいて、基礎教育も十分に受けられない層にも経済発展の恩恵はもたらされるのでしょうか？

ダルニー通信66号の編集後記にも書きましたが、タイ統計局が2011年1 ～ 6月に実施した調査によれば、バンコクと首都圏3県の世帯あたりの平均月収は約11万円（月収です）。一方、ダルニー奨学金が提供されている生徒の家庭の年収は10 ～ 15万円です。在タイ日本大使館のHPによれば、タイに対する日本のODAの2009年までの累積援助額は借款ベースで約2兆1,000億円、贈与ベースで約3,700億円。これに民間投資額を加えると、タイ1国だけでも巨額のお金が注がれたことになります。これだけの巨額の投資もあってタイは経済発展してきたのですが、しかし、前述のような貧富の差が生じており、スラムの数は1000以上で、スラム人口は100万人を超えると言われています。

経済格差をこれ以上拡大しない、または小さくする経済政策とはどのようなものかという課題は残されたまま、アセアン経済共同体が2015年末にスタートします。



アセアン経済共同体（AEC）のスタートにあたり、各国事務局責任者のコメント

アセアン経済共同体のスタートが、
各国の経済や奨学生を含む経済的に貧しい人々にどのような影響を与えるでしょうか？
各国の事務所の責任者からコメントをもらいました。

1国単独ではなく5カ国全体で対応

EDFタイ専務理事/メコンサブリージョン議長 サンペット

社会階層の上のクラスがまず恩恵を受ける一方、下のクラスの人々は貧困ゆえに経済の変化にうまくついていけないため、恩恵は限られるでしょう。AECのスタートは貧困、教育、環境、人権、人身売買、麻薬など、様々な社会問題を投げかけるかもしれませんが、それは1国だけの問題ではなく域内全体の問題で、したがって域内全体で対処しなければなりません。私たちの専門分野である教育については、支援を必要とする子どもはさらに増えるかもしれません。Education for All を掲げるEDFグループとしても、1カ国というより5カ国全体で支援する体制づくりを迫られると思います。

職業訓練教育を取り入れて経済の早い変化に対応

EDFラオス理事長 カムヒアン

AECのスタートはラオスに発展と挑戦の機会を与えるでしょう。ラオス経済全体としてはさらに発展し、貧困から抜け出る人も増えると思います。その一方で、教育レベルが低いゆえ、経済が期待したほど発展しないかもしれません。都市部と農村部の貧富の差がさらに拡大し、農村部は取り残される可能性があります。これまで以上に早い環境の変化に、彼らがどのように対応するかが問われます。ラオス事務局は、経済統合の恩恵が農村部の貧しい層にも行き渡るように、政府や企業と協力して今後は職業訓練教育にも積極的に取り組みたいと考えています。

国民が等しく恩恵を受けるには時間が必要

EDFカンボジア理事長　チャンディ

カンボジアはここ10年、驚異的な経済発展を続けていますが、貧困の解消や人材育成、教育などの面で超えなければならないハードルはまだまだ高いのが実情です。AECは国内外のさらなる投資を呼ぶ絶好の機会ですが、国民に等しく恩恵をもたらすことは難しいと思います。カンボジアはポルポト時代に人材が根こそぎにされ、他国への輸出品は農産物などの一次産品しかなく、さらに電気や道路、港などのインフラも十分ではありません。経済統合から国民が等しく恩恵を受けるには、教育があまねく普及していなければなりません。そのために、カンボジア事務所はより一層の努力をしていきたいと思います。

後発の4カ国にAECの恩恵はすぐに来ない

EDFミャンマー理事長　ニーニー

アセアンに遅れて加盟した4カ国のうち、最初のメンバー6カ国の経済レベルに追いつきつつあるのはベトナムだけで、ミャンマー、ラオス、カンボジアは遅れています。ミャンマーの経済は農業や自然資源に大きく依存し、約5,000万人の人口のうち4人に1人が貧困状態です。国内で３つの経済特区がスタートしていますが、電気も十分に供給できない状態に留まっています。少数民族との紛争が解決し、サイクロンなどによる大きな災害が起きなければ、政府は資金を社会インフラに回せるでしょう。経済統合は歓迎しますが、その恩恵は最初のメンバー 6カ国が受け、上記4カ国は後回しになると思います。

教育支援は日越関係を深める有効な手段

EDFベトナム理事長　バン

日本の金融機関が中小企業を対象に今年４月に行った調査で、今後の「進出予定国」としてベトナムが１位となっています。またインドシナ地域ではミャンマーからベトナム・ダナンまでを貫く「東西経済回廊」、今年４月に開通した「南部経済回廊」の２本がAECの大動脈となりますが、どちらのルートも日本側の「窓口」となるのはベトナムです。AEC発足で海外からの投資増大が予測されていますが、日系企業からベトナムに向けた視線もさらに熱いものになるでしょう。良好な日越関係をさらに深めるために、経済発展から取り残されているベトナムの社会的弱者支援も有効な手段だということを、進出している日系企業に呼びかけていきたいと思います。

フジクラ労働組合が支援した元奨学生からの手紙

いとこのために大学進学をあきらめ、レストランの経営スタッフに



私は中学校3年間の支援を受けたラティカーン・チューンです（上写真中央）。現在23歳です。13歳のときに両親が死んでしまい、祖父母と叔母に拾われて、叔母の子ども（私にとってはいとこ）3人の合計7人で暮していました。家族はとても貧乏でした。働き手は叔母だけで、叔母からの収入をおばあさんが私たち子ども4人に分配してくれました。私は看護士になりたかったので一生懸命勉強しました。ダルニー奨学金に選ばれたときは本当に嬉しかったです。その奨学金で文房具や制服などを購入することができました。奨学生に選ばれたことで、私はますます勉強し、家族の家計も助かりました。

中学校卒業後、他県の高校に通いました。奨学金はありませんでしたが、授業料は無料でした。通学費と教科書代だけが必要で、努力して費用を切り詰めました。高校卒業後、看護士になるために大学の看護学部に行くか、それがだめなら、どこでもよいと思って受験した結果、ホテル観光マネジメント学科に合格しました。しかし、叔母は「家にお金がない、まだ学校に行っている子どもを優先させたい」と言って、私の大学進学に反対しました。

私は大学進学をあきらめ、バンコクに出て、日本料理のレストランでウェイトレスとして2年間働き、安い給料の中から家族にも仕送りをしました。その後、別のレストランに移り、そこでレジを任されました。7ヵ月後、そのお店の別の支店がオープンした際、私の上司が私を新しいお店のマネジメントスタッフとして採用してくれました。給料は上がり、私の生活は安定し、仕送りも続けています。

私は今、お店の経営スタッフとして働いています。将来のキャリアアップを図るため、大学で経営を学ぼうと思っています。フジクラ労働組合の皆さんには心からの感謝を申し上げます。皆さまのご支援のお陰で学校を終え、家族を助けることができ、これまでの私の夢や希望を実現することができました。ご支援を本当にありがとうございました。

ミャンマーの奨学生

新しいお父さんが去り、赤ん坊の面倒をみる中1の奨学生トゥーラ

今年からダルニー奨学金をもらって中学校に就学したトゥーラ・キヤウは学校に行く前と帰ってから、1歳半にはる弟の面倒を見ています。昨年まで1歳年上のお姉さんが生まれたばかりの赤ちゃんの面倒を見ていたのですが、彼女が働かなければならなくなったからです。

トゥーラのお父さんは4年前に亡くなり、お母さんがする日雇い労働だけが唯一の収入（月収106ドル）になりました。苦しくなった家計を何とかしたいと再婚しましたが、その男性に収入は無く、1人の赤ん坊を産んです

ぐ、新しいお父さんは家族のもとを去ってしまいました。子どもが4人になり、お母さんの収入だけでは生活できなくなり、1歳年上のお姉さんが中学1年で中退して、村で日雇い労働を探しながら働き始めました。そのため、トゥーラが生まれたばかりの弟の面倒を見ることになったのです。1日何回か水を井戸から汲んで運ぶなどたくさんの家事もこなして大変ですが、学校をやめて働いているお姉さんに比べれば、学校に行って勉強することができ、また学校で友達とサッカーを楽しむこともできる。「私の家庭はお父さんが死んでしまい、母と家族のために中学校をやめた姉が村で日雇い労働をして働き始めました。ウチは経済的に貧しい家庭ですが、いつか家族が十分食べていけるだけのお金を稼ぎたいです」と語るトゥーラ。自分はまだ恵まれていると思っています。この頃、ようやく幼い弟の面倒をみることに慣れました。



左から２番目がトゥーラ。その右がお母さん、さらにその右がお姉さん

ベトナムの奨学生

ベトナム戦争で枯葉剤を浴びたお母さんを亡くし、1人で生活





トラン・ティ・ヌ・クインのお母さん（1956年生）はベトナム戦争の最後の3年間、若者たちで組織された戦争奉仕グループに参加し、米軍が最も大量に枯葉剤（ダイオキシン）を撒いた地区で働きました。そのときから死ぬまで長い間、重い皮膚病を患い、それが原因で結婚できず、シングルマザーとしてクインを生み育てました。2014年にお母さんが亡くなると、クインは独りきりになりました。遠くに住む叔母が時々、食べ物を持ってきてくれますが、それだけでは十分ではなく、家の周りで野菜を育てています。政府から国民健康保険を支給されましたが、これは医療だけの補助で、食料や光熱費などの生活費や学費は補助されません。

クインは生まれつき背中に大きな腫れ物ができています。お母さんが枯葉剤を浴びたことが原因だと思われます。「でも、彼女は病気や貧困に負けていません。成績はクラスでトップ。友達に勉強を教えることもあります。健康増進に役立つからとスポーツにも前向きです」と担任の先生。

クインの夢は医者になることです。そのために、まず中学校を卒業して高校に入学しなければなりません。中学校の授業料は無料で、教科書はなんとか入手して、必死でガンバって何とか中3まで進級しましたが、卒業試験に向けた補習授業と高校に入学するための補修授業を支払うお金はなく、将来を悲観していました。そんな時、ダルニー奨学金のことを聞き、1年間の奨学金を申し込んだところ、幸運にも支給が決まりました。「奨学金が決まってクインに希望と笑顔が戻りました。40年前の戦争の爪痕がこうした子どもたちに残っています。彼らの多くはこの不幸に立ち向かう力がありません。これからもぜひご支援をお願いします」。担任の先生はクインに寄り添いながら、支援の必要性を繰り返し訴えました。



ラオス：図書館が建設された学校で読書感想文コンテストを開催

生徒154名が生まれて初めて読書感想文を書いた！

2014年8月、渡辺恵子様のご支援でサワンナケート県ヤンカム小中一貫校に図書館がオープンしました（写真上）。図書館の建設により、子どもたちが本に接する機会は増えましたが、より多くの子どもたちに本を読んでもらうため、年2回、読書感想文のコンテストを開くことにしました。（これも渡辺様のご支援）。しかし、先生たちや民際センターラオス事務所の担当職員ですら、読書感想文がどういうものなのか分からない状況でした。それで、民際センターの担当職員がまず読書感想文を書き（高校卒業以来初めてでした！）、それを例文として、今度はラオス事務所の職員に読書感想文について説明し、ラオス職員が先生たちに、先生たちは子どもたちにという形で、初めての読書感想文コンテストが行われました。賞品は文房具。子どもたちが参加してくれるかどうか心配しましたが、結果は大成功！小学生65人、中学生89人が応募してくれました。その中から優秀作をご紹介します！

小学生の部：センパチャン・サイさん（小5）（写真左下）

本の題名 「模範生」



この話には女性主人公1名、男性主人公1名が出てきます。男性の名前はジョイで女性の名前はスリンダです。スリンダはクラスで一番の模範生です。ジョイはトップの生徒ではありませんが、とても賢いので、スリンダの行動を観察し、彼女がいい成績を得られる秘訣をみつけます。ジョイはスリンダを手本として見習い、いつか彼もトップの生徒になり、両親と先生に誇りを持ってもらいたいと言います。

模範生になるためには、私は人のいいところを観察して自分の行動に取り込む必要があると思います。模範生になるのは名誉あることなので、私もスリンダを見習い模範生になりたいです。それに模範生になることで、成績や行動が良くない友だちを助け、彼らの相談役にもなりたいです。

中学生の部：ポンマテブ・バンニダさん（中3）（写真右）



本の題名

「幸せな時こそ、自分の根っこを忘れない」

この話は、とても貧しい家に生まれた女性の話です。彼女は毎日のようにナツメを採り、近くの村々に売り歩いて生計を立てていました。ある日、大金持ちが彼女を見染めて結婚し、共に暮らすことになりました。裕福な生活に喜ぶあまり、ほどなく彼女は自分がどこから来たのかも、自分の貧しい両親のことさえも忘れてしまい、更に過去の自分が誰で何をしていたのかもすっかり忘れ果ててしまったのです。そんな彼女の行動に、夫は耐え切れず彼女を家から追い出す決心をしました。家を追い出された後、彼女の心によぎるものがあり、両親にとても悪いことをしたと気付き、敬う気持ちが戻り謝罪しました。やがて、夫は彼女を両親と一緒に連れ戻し、みんなで幸せに暮らしました。

この物語は、人間は調子に乗りすぎてはいけないことを私たちに教えてくれます。私たちを愛しみ育ててくれた両親を敬って世話をすることの大切さを教えてくれます。私たちが幸せな時は両親も同じように幸せなのです。両親が病気になれば医者に診てもらい、最後まで世話をします。父の愛は山のように高く、母の愛は空や大地のように広いとラオスの諺にあるように。

私は、過去にお世話になった方々を忘れることなく尊敬し、両親を助けていくつもりです。そして、国と社会にとって良い市民になれるように、この物語から得た教訓を常に忘れずに生きていきたいと思っています。

カンボジアの高校の寮建設に対するご支援のお礼

皆さまのご支援で コンポン・レーン高校に 女子寮が建設されました！

～残金に新たなご寄付を加えて 別の寮を建設～





今回の募金金額：	2,447 千円
助成金：	808 千円
寮建設費：	1,770 千円
残高：	1,485 千円

前号のダルニー通信で、カンボジアのコンポン･レーン高校の女子寮建設費ご寄付のお願いをしたところ、多くの方々からのお申し込みを頂き、目標をはるかに超える金額を集めることができました。早速、寮は建設され（写真上）、コンポン･レーン校の約20名の女子生徒に安心して生活できる空間を提供することができました。ご寄付をしていただいた方に心からお礼を申し上げます。生徒たちは2015年11月の新学期から寮に住むことになります。（通常、新学期は10月ですが、今年は11月になるため、生徒の喜びの声をお伝えすることができず、残念です）。



以前の寮(右下)と新しい寮(上)



前回のダルニー通信で、建設費の残りの金額は生徒たちの生活に必要な物品を買うために使いますとご案内しましたが、かなりの金額が残っているため、通学距離がより遠くて中学校就学が困難な生徒が多い他の地域の学校に新しい学生寮を建てた方がよいとの結論に至りました。それで、残りの金額1,485,000円は、タケオ県コー・アンデット郡にある中高一貫校に女子寮を建設するために使わせていただきます。

同校の状況はコンポン・レーン校同様、勉強を続けたい生徒たち（写真左）が自力で小屋を建てて生活していますが、下の写真から分かるように、生徒たちが木で組んでヤシの葉っぱを乗せただけの小屋で、女の子たちが夜、安心して寝ることができない環境です（カンボジアの治安はあまり良くありません）。この学校に新しい女子寮を建設する費用は約233万円で、あと845,000円が必要です。建設費用がコンポン・レーン校より高い理由は、寮生活を希望している生徒数が多いため寮の面積を増やすことと、生徒の家族が負担する電気代が減るようにソーラーパネルを設置したいと考えているからです。度重なるお願いで恐縮ですが、同校の女子生徒たちが安全な環境で勉強を続けられるよう、また、学校が遠くて就学を諦めようとする生徒たちに機会を提供できるように、ぜひご寄付をお願いいたします。金額はいくらでも構いません。寄付をしてくださった方には完成後、報告書をご送付します。お問い合わせは志賀まで。



ラオス

少数民族教師養成事業の生徒4人が卒業

「教師として地元の子どもたちの成長と国の発展のために･･･」と卒業生

少数民族教師養成事業は2004年から2011年まで大同生命国際文化基金様のご支援で運営され、109人の少数民族教師を送り出しました。その後、事業は中止されましたが、教師が少数民族の学校で活躍しているのを確認したラオス事務所からの要請により、一般の支援者からのご支援で2013年に再開することになりました。2015年9月、その1期生である4名の少数民族の学生たちが卒業し、教師になる夢を実現することができました。そのうち、2人が支援者に送った感謝の手紙をご紹介します。



左から県教育委員会の担当者、ラシさん、センゴタイさん、ニスさん、4人目の卒業生はマラリアで卒業式に参加できませんでした

親愛なる私の支援者、藤本様に感謝の気持ちを込めて

本日、私は教師養成短大を卒業しました。今まで支援してくださった藤本様への感謝の気持ちを一つ一つの言葉に込めて、この手紙を書きます。

藤本様の優しいご支援のお陰で、私はこの2年間、学校に通うことができ、学校の教材が購入でき、寝る場所があり、食べることができました。慣れてない寮での集団生活や厳しい規則で時々泣きたい気分になったこともありましたが、その度に藤本様の優しさを考えることで乗り越えることができました。本当にありがとうございます。

会ったこともない私のために、このような寛大な支援をしてくださった藤本様に、どうすれば恩返しできるのか私には思いつきません。ただ、これからも一生、藤本様のご支援を心の宝物として生きていきます。藤本様からのご支援は私と私の家族にとって、これまで受けたことのない恩恵です。これからは教師養成短大で得た知識を、私の地元の子どもたちの成長と国の発展のために使いたいと思います。

私が教師養成短大を卒業できるように支援してくださったこと、改めて感謝申し上げます。フジモト様がこれからもずっと健康で、生活が安定して、幸せでいらっしゃることを心から祈ります。

センゴタイより

良い教師となって、故郷と国の発展のためにガンバリます

貴方様は私にとってお父さんのような存在です。

私は今日、教師養成短大を卒業し、貴方様にこの手紙を書けることを誇りとして思っています。今日で私の人生は変わり、私の夢はかないました。貴方様の支援をいただけた私はとても運が良いです。教師養成短大での2年間は新しい環境で、好きなだけ勉強ができ、良いルームメートたちに巡り合えた幸せに満ちた日々でした。卒業後には地元にもどり、子どもたちを教えられるようになりとても嬉しいです。私の地元はあまりにも田舎なため教師を雇うのが大変で、学校に行かない子どもたちも多いです。私は地元の小学校で小2の担任になる予定です。なんとか私の故郷が他の地域のように発展できるように頑張りたいと思います。

貴方様の優しさについてどのように恩返しができるのでしょうか？一生懸命にガンバって子どもたちと国のために良い教師になることだけは約束します。幸せ、繁栄、健康、お仕事での成功、世の中のすべての良いことが貴方様のもとに訪れることをお祈りします。もし、これからラオスにいらっしゃる機会がありましたら、ぜひ、私の地元にも来てください。今回のご支援が、私や私の家族、私の生徒たちにどのような変化をもたらしたのかをぜひお見せしたいです。

ラシより

新規事業

参加校や同事業のボランティアも募集

「インターネット・フレンドシップ校交流」がスタート！

昨今、訪日外国人が増えており、2020年には東京でオリンピック・パラリンピックも開かれるため、より一層のグローバル化を感じる場面があちこちで見られるようになったのではないでしょうか？

とはいえ、日本は島国ということもあって、日本に来るのも、外国へ行くのも手間がかかります。大人になればいざ知らず、小さいときから外国や外国の人と親しみを持って付き合うということは、特別な機会がなければ体験できない、または特別な人たちが体験するもの、というお考えはありませんか？

インターネットという情報網が整備されたことによって、これからの世代の人達は、もっと簡単に誰もが世界とつながることができます。こんな素晴らしい手段が身近になった今、小さいときから多くの日本人が外国や外国の人と親しみを持ち、世界の誰とでもつきあえる大きな視野を育んでくれたら…。そんな思いから、民際センターは2015年度初めにインターネットで日本とアジアの学校同士が交流するという「インターネット・フレンドシップ校交流」を始めました。当面の交流国は民際センターにとってなじみの深いタイです。国際交流基金アジアセンターからも調査事業として助成金が支給されました。





タイの中学校の生徒と交流する札幌東高校の生徒たち

インターネット・フレンドシップ校交流のご案内とボランティアの募集

調査事業の結果を受けて、2016年度は同事業を本格実施することとし、目標参加校を50校としました。調査事業では参加校20校だったわけですから、その2.5倍となるわけです。

そこで、皆様お知り合いの学校がありましたら、弊団体のインターネット校交流事業をお薦め下さいませんか？興味を持ってくださる学校がありましたら、担当者までご連絡下さい。資料を送付いたします。

また、インターネット・フレンドシップ校交流を充実したものとするために、今回、ボランティアを募集します。調査事業では、学校の先生から、インターネット・フレンドシップ校交流に参加するために期待したいこととして、異文化交流、英会話、ICT専門家指導者のサポートという声が寄せられました。充実したインターネット・フレンドシップ校交流を行うことによって、参加校が増え、交流の裾野が広がる、そのためにはたくさんの知見のある方々に参加してもらうことが重要と考えています。

なお、ボランティアとしての作業は主にメールを通じてのサポートを想定しており、お住まいの場所にはこだわりません。インターネット・フレンドシップ校のご推薦、交流ボランティアの募集その他のご質問は以下までお願いします！

⇒ インターネット・フレンドシップ校交流事務局（橋本）：電話03-6457-5782 Email：friendship@minsai.org

FROM THAILAND

立命館宇治高校のグループ

タイを訪問

立命館宇治高等学校
IM コース３年
規矩　琴香



前列右から２人目が Tong、その左がお母さん。後列一番左が立命館宇治中学高等学校のフォックス校長。前列一番右が規矩さん

立命館宇治高等学校には４つのコースがあり、私が属する Immersion コース（以下、IM コース）は文科省のスーパーグローバルハイスクール校（以下、SGH）の対象コースとなっており、様々な取り組みを実践中です。今年に入ってからは、アントレプレナー教育として MIT（米国・マサチューセッツ工科大学）の Disciplined Entrepreneurship（新しい事業を起こすための教育プロセス）を学びつつ東南アジア支援活動に取り組んでいます。

この６月、私たち生徒５人と教師２人はタイ（バンコクとムクダハーン県）及び、ラオス（サバナケート県）を訪れました。この訪問を通じて痛感した重要な言葉は「つながり」です。現地の人々と時間を共有したからこそ芽生えたつながりの強さが、いかに人を支援する上で原動力になるかを学ぶことができました。今回の訪問は現地調査が主な目的でしたが、私たちは受け身ではなく自発的に行動するという強い気持ちを大切にしました。実際、その思いをカタチにできる機会は多くありました。例えば、私たちは、民際センターが今年始めたインターネットフレンドシップ事業に参加し、ムクダハーン県にある Princess Chulabhorn's College Mukdahan 校と交流することになり、同校を訪問しました。お互いの自己紹介、学校紹介を含めたプレゼンテーションを終えた後、今後の活動計画について話し合いました。積極的に話し合いに参加することで、お互いの思いをより良く理解することができ、今後の活動にワクワク感を覚えました。

もう一つのつながりは、立命館宇治高校が支援しているダルニー奨学生 Tong との交流です。Tong は中学１年生（13 歳）の女の子で、ムクダハーンの中学校に通っています。彼女と話して一番感じたことは、彼女の生命力、意志の強さです。彼女の魅力的な笑顔の裏には深刻な貧困がありました。両親が離婚し、母は都市に移住し再婚、父は行方が分からず、祖母と弟との２人暮らしです。そんな状況で、彼女は常に「感謝の思い」を忘れません。学校に通える喜びをかみしめ、支援する側の気持ちに応えようと熱心に勉強し、優秀な成績を収めているのです。そんな彼女の将来の夢は軍人になること。理由は収入が安定しているからだと言います。実情をよく理解しないまま支援するのと、こうした彼女の熱意を知って支援するのとでは、大きな違いが生じると感じました。現地の実情を知ったからには、今度は発信者として自分たちは何ができるのか、何をすべきかについて、その思いを発信する回数を増やし、さらに行動を起こしていきたいと思っています。

私たちは行動を起こす第一歩として、学校の国際委員と連携し、興風祭（文化祭）で支援活動の広報をしたいと思っています。現地の様子のみならず、彼女の頑張りを知ってもらうことで、より多くの友人に支援活動に参加してもらいたいと思います。また IM コースで進んでいる様々な SGH の取り組み、例えば、CSR プロジェクトや宇治活性化の活動とも協力しつつ、できれば他校の生徒も巻き込むべく計画中です。市をあげての支援規模拡大を図る。それこそが民際センターの秋尾さんが掲げる「民による支援」を広げる橋渡しになると考えています。少しでも前に進めるよう、一生懸命頑張っていきます。

タイの奨学生の実情を知って、今度は発信者になりたい！

第2回「H2Oサンタ NPOフェスティバル」(大阪)に

民際センターもブース初出展！

阪急百貨店



H2O リテイリンググループの社会貢献活動「チャリティーネットワーク H2O サンタ」主催で、第２回「H2O サンタ NPO フェスティバル（パート２）」が、今年８月19 日から 9 日間、阪急百貨店うめだ本店９階の祝祭広場で開催され、民際センターは前半 19 日～22 日、初めてブース出展させて頂きました。

民際センターブースでは、募金箱やパンフレットの設置、民際スタッフによる活動紹介、「バーシー・ミサンガ」などのチャリティグッズの販売をしました。

更に、祝祭広場トークコーナーでの活動紹介を４日間で 8 回もさせて頂きました。毎回 15 分程でしたが、途上国の現状と教育支援の必要性を熱く訴えることができました。そのおかげで、新たな出会いや新規奨学金支援者の方がたも誕生しました。

２日目の活動紹介後すぐに、優しげな眼差しのご婦人がブースにお越しになり、「お話を聞き、こういう方が国際協力活動に関わっているんだと興味を持ちました。カンボジアを以前訪問したので同国中学生 1 人を卒業まで支援します」と、振込用紙に必要事項を記入し、「これから送金してきます」と笑顔で会場をあとにされたのがとても印象的でした。

また別のお客さまは、「活動紹介を聞き支援したいのですが、私が病気で医療費もかかるので、せめて今の私の身の丈に合う支援ということで、『バーシー・ミサンガ』を購入します。確かタイやラオスで健康と幸せを祈願するとおっしゃっていましたよね」と。

３日目の活動紹介後には、神戸からいらしたという柔和な笑顔のご婦人２人が、奨学金をそれぞれが支援するとおっしゃり、さらに「携帯電話のストラップにします」とミサンガを２個ご購入してくださいました。

心優しき方がとの出会いに感謝感激です！

そして、この素晴らしいイベントに出展の機会をくださった阪急阪急百貨店 H2O サンタの方がたにも感謝しています。

また、「チャリティーネットワーク H2O サンタ」パートナー NGO の一つとして、民際センターの募金箱設置とパネル展示などを、阪急百貨店祝祭広場 9 階や 11 階で行ってくださっています（不定期）。

実際、昨年９月と今年７月、同店「H2O サンタ チャリティーガイド」コーナーで募金箱設置をして頂いた結果、タイ・ミャンマー・カンボジアの中学生３人が奨学金を受給できました。

H2O サンタさん、今後とも宜しくお願いします！

祝祭広場９階や11階



募金箱とパネル展示



民際センターの活動紹介 DVD 上映

ラオス事務局

フェンが来日し母校で講演

大阪大学及び大学院に留学経験がある民際センターラオス事務局のフェンが来日し、支援学生団体 Study for Two (SFT) 阪大支部主催のイベントで 6 月 23 日講演しました。

最初に SFT 阪大支部から Study for Two の活動紹介がありました。中古教科書販売という募金方法で 2011 年に早稲田大学からラオス奨学金支援を開始し、今では全国約 70 の大学に活動が拡大。2015 年 7 月の段階で、1000 人（4 年間の合計）を超えるラオスの子どもたちに奨学金を提供しています！

次にフェンが日本での留学経験、ラオスの教育事情や奨学金支援の効果を語りました。「教育は子どもに与えることができる唯一の宝物」と考える両親のおかげで、兄 3 人とフェンはラオスで高校を卒業することができました。ラオス国立大学も奨学金で通学し、大阪大学／大学院も日本政府の奨学金で卒業できたフェンだからこそ、奨学金の効果を自ら実感しています。「日本からの奨学金支援で、1 人でも多くのラオスの子どもたちに基礎教育を受ける機会を提供し、彼らが夢を描き、将来を切り開くことができるように今後もご支援お願いします」と、フェンは参加者に熱く訴えかけました。

続いて、フェンの指導教員だった大槻教授が登壇。ちなみに、フェンは阪大／院卒業以来初めての来日なので、恩師の大槻教授とは 5 年振りの再会となりました。「今日のスピーチを聞いて、彼女が勤務する NGO 団体は、政府や世銀などの国際機関ができない活動、つまり、貧困のため教育を受けられないラオス地方農村部の子どもという受益者に支援が直



「教育は子どもへの唯一の宝物」と語るフェン

接届く仕事をしていると強く感じました。私の教え子であるフェンさんが、社会のため、経済格差に苦しむラオスの子どもたちのために尽くす仕事をしていることがわかって、非常に嬉しい」と柔和な笑顔で語ってくださいました。

最後はラオススタディツアーに参加した SFT 関西学院大学支部メンバーの体験談。「自分の活動で生まれたお金がどのように使われているか気になったから」と参加理由を語り、「小学校を卒業しても中学や高校が遠すぎで通えない。民際センターが中学や高校まで支援することに賛成」、「もっと多くの支援をしたい」と語りました！



「民際が中学や高校まで支援することに賛成」と語る SFT メンバー



SFT 阪大支部メンバーの活動紹介

ベトナムの奨学生35名と先生６名を
ホーチミン市にある同社に招待



奨学金提供４年目を迎えたベトナムで、現地に進出している日系企業から民際センターの活動に対する支援が広まりつつあります。カップヌードルでおなじみの「日清食品」の現地法人は、今年度の奨学生に同社製品をプレゼントしたほか職業体験型テーマパークに招待するなど、経済的に恵まれないベトナムの子どもたちの援助を行いました。

ベトナム全土の 58 の省と 5 つの中央直轄市の学校では 9 月 5 日に 2015 年度が正式にスタートしました。民際センターではこの新年度、ベトナム南部のドンナイ省と、北部のタイビン省の合わせて 156 人に奨学金を授与しました。そして「ベトナム日清」(ホーチミン市) は「グエンティミンカイ」「タンソン」「タイソン」「グエンチャイ」のドンナイ省にある 4 中学に通うことになった 80 人に対して、同社がベトナムで販売している即席麺が 30 個が入った 1 ケースを　それぞれ贈りました。

「ベトナム日清」がベトナム国内で即席麺の販売を開始したのは 2012 年夏からで、民際センターがベトナムの子どもたちに支援を開始した時期と重なります。民際センターの現地組織である EDF ベトナムとベトナム日清のパートナーシップは今年になって始まり、最初の協力事業が行われたのは今年 5 月 19 日と 20 日の 2 日間。民際センターからの奨学生 1 期生となるドンナイ省の中学 3 年生のうち、参加を希望した 35 人の奨学生と 6 人の引率教諭を、車で 5 時間離れたホーチミン市内にある子ども向け職業体験型テーマパーク「Vietopia」に招待。バスのチャーター代、旅行期間中の食事代、ホテルへの宿泊代などは同社がすべて負担しました。



昨年４月にオープンしたばかりの Vietopia の施設内には、空港、病院、銀行、新聞社、スーパーマーケット、電車などの体験施設のほか、日系企業を含む多くの企業がアトラクションを設置しており、子どもたちが様々な職業を体験することができます。日清食品も材料からどうやって乾燥麺ができるかを紹介したブースを構えています。

日清ブースで職業体験を行った奨学生は「(お湯を入れて) 3 分で調理ができるインスタントラーメンだから (作るのもの) きっと簡単なんだろういうイメージを持ってました。しかし 30 分の職業体験を現場で行って (１つの製品にするのには) こんなにも大変な作業が必要だと知ることができました。自分で作ったインスタントラーメンを作業後に食べたのだけど、いつもよりずっとおいしく感じました」と目を輝かせました。また生徒たちの引率として訪れた教諭はベトナム日清と EDF ベトナムに対して「自分の生徒たちをこんな風に世話していただき、さらに仕事のオリエンテーションまで体験させていただけるなんて夢のように嬉しいことです。ベトナムの田舎にはまだまだこんな体験を必要とする子どもがいっぱいいます。もっと多くの子どもたちがこのような体験ができるようにさらに協力を広げてほしい」と呼びかけました。

タイ料理サークル

第3回

ちょっとおしゃれなタイ料理をご紹介！



タイ風ピンチョス

クリスマスやお正月にぜひ作ってください！

材料

（2人前）
クリームチーズ　50g
厚切りハム（またはウインナー）　50g
ミニトマト４個
バイマックルー（こぶみかんの葉）　２～３枚
パイナップル　1／8個（またはカットパイン1パック）

粗挽き黒胡椒 少々
チリソース 適宜
パクチー１本

作り方

1　パイナップル、クリームチーズ、ハムは1.5cm角に切る。
2　ハムをフライパンで焼く。（油は入れない）
3　バイマックルーはすじを取り、なるべく細いせん切りにする。
4　クリームチーズに３のバイマックルーまたは黒胡椒をまぶす。
5　串に材料を刺す。
6　皿にチリソースを置き、ピンチョスを立てて、パクチーを飾る。

Point!

- 見た目は洋風（？）ですが、お味はしっかりタイの味です。お行儀を気にせず、一口でパクッといただくと、お口の中に色々な味が広がります。
- お歳暮にいただくハムが大活躍！　無い場合は、ウインナーを切って焼いてもOKです。
- 100円ショップでも、可愛いピン（楊枝）が売っています。お洒落に演出してください。



西大路有紀子

1995 年よりタイ料理を学ぶ。東京池袋の自宅で料理教室を主催。2013 年よりチェンマイでベジタリアンタイ料理を学ぶ 1996 年よりダルニー奨学金を支援。

支援者のお志を社会貢献の形に変えて
後世にまで伝える

私の特別教育基金

私たちの名前を冠した基金で半永久的に途上国への支援が続く！

民際センターでは、支援者の想いを安全に、確実に、そして簡単な手続きで後世に伝えられる「私の特別教育基金」のご寄付を募集しています。あなたの想いを「私の特別教育基金」に託すことにより、あなたの価値ある人生の証し、あなたが頑張ってきた証し、あなたの尊いお志の証しを 10 年後、20 年後、30 年後と半永久的に続く教育支援の形に変えて後世に伝えることができます（半永久的に続くのは後述の永続型の場合です）。

基金の運用果実は、ご寄付の際の支援者のご希望に従って有効活用されます。例えば、永続型でラオス中学生への奨学金支援を希望されたＴさんの場合、基金の運用益で毎年奨学金が生徒に提供され、10 年後、20 年後、30 年後と半永久的にＴさんのお名前を冠した基金で支援が実行されていきます。

税制上の優遇措置が適用されます

個人からのご寄付は所得税及び住民税（自治体により異なります）の寄付金控除の対象になります。また、相続により取得した財産を寄付した場合、寄付した財産には相続税が課されません

基金にはお名前がつけられます

基金には支援者のお名前や団体名など、ご意向に沿ったお名前が付けられます

基金の運用果実はご意向に沿って有効活用

基金の果実は、ご希望に従って民際センターの教育支援事業に活用されます

基金の種類は２種類（２つのタイプが選べます）

① 永続型（元本を取り崩さず、その運用益の中から永続的に教育支援事業等に活用）
② 期間限定型（限られた期間内に元本と運用益を支援に使い切る）

報告書をお届けします

年に１回、運用実績や活用内容を記した報告書をお届けします。

ご寄付の金額

原則、１口 100 万円から（追加の積み増しにつきましては金額を問いません）
⇒ 詳細につきましては、お気軽に民際センター事務局（03-6457-5782）までお問い合わせください。

基金のご寄付には税制上の優遇措置が適用されます

寄付金控除のご案内

１月中旬頃、証明書と領収書を送ります

民際センターは昨年 2014 年度に公益認定化され税額控除対象団体と位置づけられました。このため、皆様の弊団体に対する寄付金については、税法上の恩恵を受けることができます。

個人の皆様へ

◆確定申告により所得税（国税）個人都民税（地方税、東京都民に限ります）の寄付金控除を受けることができます。年末調整では控除できないことにご留意下さい。

◆寄付金控除には、所得控除と税額控除（寄付金特別控除）があり、弊団体への寄付金はいずれか有利なほうを選択適用できます。

◆民際センターは、来年１月中旬をめどに領収書を発送いたしますので、寄付金控除を受ける際にはこの領収書を申告書へ添付下さい。なお、寄付金控除の記載についてご不明なことがありましたら、民際センターへご連絡下さい。

民際センターの新しい動き

公益財団法人 民際センター　秋尾晃正

ラオス TTM 事業の新しい動き

ラオスで初めてのデジタル教材を通した教育の可能性・・・日本の教科書会社の協力は如何に？

2004 年に開始した TTM（教師修士留学事業）の卒業生は 20 数名に上り、全員がタイのコーンケーン大学で修士を取得し、すでにラオスの教育界で活躍しています。ラオスの教育における重要課題の１つは教師の質の向上と教師の量の拡充です。デジタル教材はそれを最速で可能にする手段の１つで、TTM 卒業生はその担い手になりうる有能な人材だと思います。

以下、私の構想です。まず、日本の教科書会社の協力を得、ラオスの算数・数学のカリキュラムに沿って日本のデジタル教材の内容を整え、TTM 卒業生が主体の教育指導学会がラオス語に訳し、小学校１年から高校３年までの試験校で実践を積み、最終的にこの教材を教育省のクラウド環境に載せ、各学校の先生がインターネットにアクセスし、クラスで使用する。電気のない村でもスマートフォンを使っている村人がいる時代、インターネットの普及は時間の問題です。2018 年の新学期までに実施したいと模索しております。

浦上ランチ事業の新しい動き

ラオスでの初めての一村一品運動の可能性・・・・　養殖の生産者組合への創設に向けて？

2012 年にスタートした「浦上ランチ・プロジェクト」の目的は給食制度の全国への普及であり、３年間支援の後は自立を促します。初年度は厨房や食材確保のための菜園等の整備で週１回の給食。２年目は週３回、３年目は週５回の実施です。2016 年度の４年目からは自立して給食を実施します。

３校で週５回の給食を実施した担い手は自分たちの子どもの昼食を毎日料理し、食材確保のための農作業等のお手伝いをした住民（運動）でした。社会主義国家ラオスでこれまで自発的な住民運動はなく受動的な社会風潮でしたから、この活動はまさに画期的な動きであると言えます。

さて、４年目に自立するために、３校のうちの１校の小学校があるポントン村で新しい事業をスタートしたいと思っています。同村に大きな池があり、それを利用して「地域おこし」と「ランチ・プロジェクト運動」を合体させて養殖の生産者組合をつくり、収入向上と雇用創出を兼ねた事業です。すでに実施に向けて調査を開始しました。以下、ご協力のお願いです。

１．ランチ・プロジェクトは試験的段階から普及段階に入りました。児童数にもよりますが、年１口 100 万円で３年間ご支援をしていいただける方の募集を開始しました。

２．東南アジアの重要な食用魚「バサ」の養殖事業はクラウドファンディングで募金を開始しますので、ご関心のある方は、民際のホームページからご寄付をいただけたら幸いです。

チャリティカレンダー販売



1,000 円／部

●支援国の祝祭日記載
支援国、支援する子どもをもっと身近に感じる！

●メモをしやすい大きな日枠
ご自身の予定もどんどん書き込める！

●カレンダー購入で寄付
収益金はメコン諸国の子ども達を支援する活動に役立てられます！

ご購入は、WEB、もしくは郵便振替で。
口座番号：００１６０－７－６６４９２８
加入者名：公益財団法人 民際センター
※窓口からのお振込の場合のみ、振込手数料が免除されます。
（お振込される際は、振込手数料免除口座である旨を必ず郵便局員にお伝えください。）

佐久市

佐久平ダルニー連絡会、元気にガンバッています

佐久平ダルニー連絡会　世話人　柳澤光一



佐久平ダルニー連絡会のブース

9月6日、長野県佐久市において「第17回国際交流フェスティバルin佐久2015」が開催され、佐久平ダルニー連絡会も国際交流団体として参加しました。

この国際交流フェスティバルでは、佐久市内に在住する外国人と佐久市内の国際交流活動を行っている団体が参加し、各国文化の交流を行っています。

当連絡会は、ブースでのダルニー奨学金の活動報告と奨学金提供の呼びかけ、野菜の販売による奨学金の確保を行いました。野菜の販売は長野県野辺山高原の高原野菜を農家の方から提供を頂き格安で販売しました。野菜の市場価格が高く、我々の販売する「白菜一個100円」「レタス二個100円」は大人気でした。高原野菜の販売は、国際交流フェスティバルの恒例のコーナーになっており、毎年期待されるバザーになっています。

活動紹介ブースでは、奨学金の必要性や奨学金の提供、奨学金の使用方法などの紹介や、メンバーの奨学生の証書を見本に奨学金の提供を呼びかけました。また、タイで仕入れた小物の販売や100円のダルニープレートで募金を呼びかけも合わせて行い、総額6万円を超える売り上げで、奨学金として提供することができました。フェスティバルの開催前には、読売新聞の東信版に佐久平ダルニー連絡会の活動紹介の記事も紹介されました。



野菜を販売するスタッフ

2016 タイ・ミャンマーで奨学金授与式に参加しませんか？



ダルニー奨学金を奨学生たちに授与する「奨学金授与式」に参加できるツアーを開催いたします。授与式の他にも、奨学生の学校や家庭への訪問、村での宿泊（タイのみ）を検討しております。興味のある方は担当の関口まで資料をご請求ください。

資料請求先：メール　sekiguchi.aiki@minsai.org
電話　03-6457-5782

ツアー名	スケジュール	旅行代金
① タイ・ウドンターニー奨学金授与式＆民泊ツアー	6月20～25日（6日間）	およそ18万円
② ミャンマー奨学金授与式ツアー	8月22～27日（6日間）	およそ18万円

ご注意

※　最少催行人員：6名
※　ご参加は、弊団体のご支援者様に限らせていただきます。
※　スケジュール、金額は変更になることがございます。あらかじめご了承ください。

事務局活用リスト

事務局ではさまざまな資料やサービスを用意して、ドナーの皆様のお問い合わせやご要望にお応えしています。
※ご利用につきましては、以下の要領でご連絡願います。

地域で奨学金や図書セットを広める活動をしたい

① 書き損じハガキ・未使用テレカの収集
② 使用済みインクカートリッジの収集
③ パンフレットまたはリーフレットの設置
④ 不要な本を集めてブックオフに送る
⑤ 募金箱を設置したい

お気軽にお電話またはメールでお問い合わせください。折り返し資料などをお送りします。また、ホームページでも紹介しておりますので是非ご覧ください。

奨学生や現地のビデオを見たい

DVDは現地情報満載の広報ビデオ(13分)。パネルを貸し出すこともができます。送料は負担願います。

個人でタイを訪問し、奨学生に会いたい

82円切手を貼った返信用の封筒をお送りください(メール可)。折り返し、資料をお送りします（3～5月と10月、学校はお休みのため訪問できません)。

タイの奨学生と文通したい

① 手紙の翻訳
② タイの切手購入

①：タイ語→日本語に翻訳します。手紙の原本と82円切手4枚を同封して送ってください。
②：タイ切手セット（12回分1000円）の代金は郵便定額小為替か現金でお願いします。
82円切手を貼った返信用の封筒も同封してください。
※奨学生の氏名をカタカナで読みたい方は、電話、メール、ファックスでお問い合わせ下さい。

民際事務局でボランティアをしたい

PC入力、DTP経験者、事務作業など。電話またはメールで担当、関口までお問い合わせください。

奨学金の説明を聞きたい

事務局では随時無料説明会を行っています。参加希望の方は必ずご予約ください。

毎年忘れずに送金したい

お申し込みいただければ、銀行自動引落申込書をご送付いたします。

編集後記

今号で東南アジア経済共同体（AEC）について触れました。AECのスタートでヒト･モノ･カネが今以上に自由に行き来するようになると報道されています。仕事の関係で、タイ･ラオス国境のメコン川を時々渡りますが、入国審査の列に並んでいるタイ人やラオス人がそれぞれ相手国に入国するのを見ていると、入国管理事務所の係官がポンポンとスタンプを押して終わり。カンボジアでも、国内の病院の治療代が高いので、10ドルのバス代を払ってお隣のベトナムの病院に行くことが珍しくないそうです。庶民レベルでは、すでに人の行き来は活発になっているようです。しかし、AECのスタートにより、様々な問題も懸念されます。例えば、ユニセフの統計では、世界の1/3の人身売買被害者が東南アジア出身か、東南アジアに行き着くと言われていますが、その犠牲者がさらに増えるのではないか…。ダルニー通信では、低い目線で見たAEC各国の現状について、機会のあるごとにご報告したいと思っています。（冨）

公益財団法人
民際センター

ダルニー通信　第77号　2015年12月1日発行　発行人:秋尾晃正
公益財団法人民際センター　〒162-0801 東京都新宿区山吹町337 江戸川橋東誠ビル5F
TEL：03-6457-5782　FAX：03-6457-5783
Eメール:info@minsai.org　ホームページ:http://www.minsai.org/
振替口座:00160−7−664928
（この口座は振込手数料免除口座です。必ず郵便窓口にてその旨お伝えください。）

表紙：ラオス

―紙面レイアウト協力―
吉田シャショク　福岡県大牟田市小浜町1-5-17　☎944-51-8604

中学校校舎建設

ラオスで最初の中学校が建設されました。



完成した中学校校舎

ケンムアン村では、中学校が遠くて通いきれない生徒を村人の家に集めて、小学校の先生が中学校1年の授業をしていました。その村に中学校が完成しました。



教室は広く、天井は少し低くなりました

ラオスにおける小学校建設は、1998年にスタート以来、現在まで36校を建設しました。この間、ラオスの小学校不足の問題はかなり解決されました。一方、中学校の数はまったく足りない状況です。

そこで、民際センターは校舎建設を中学校に切り替えました。その第1号として、株式会社富士通エフサス様と富士通エフサス労働組合様のご支援で、カムアン県ケンムアン村に中学校が建設されました。ケンムアン村から一番近い中学校まで14キロあり、同村の子どもたちの約10%しか中学に就学できませんでしたが、今年9月に中学校が建設され、近隣4つの村から100名の生徒が就学しました。

ラオスの村数と学校数

村数	小学校数	中学校数
11,697	8,912	1,375

(ラオス教育省2012)



教室として使っていた村人の家

中学校は教室のサイズが大きいため、小学校とは別のデザインを必要としました。今回も加藤隆久氏が他の専門家の方々と協力して設計してくださいました。中学校は小学校同様、現地の資材と労働力で、現地の自然環境にもっとも適した校舎を目標としています。